

## 道路整備について

～キッズゾーン等～ 村田俊太郎 議員

**問** 滋賀県大津市で、散歩中の園児らの列に車が突っ込み、園児らが死傷した事故をきっかけに、園児らが日常的に集団で移動する経路の安全点検の実施が求められ、さらに保育所等を中心に周囲500mを目安としたキッズゾーンを保育担当部局が設定し道路整備をする通知が出ていますが、本市の取り組み状況をお聞かせください。

**答** 各保育園、認定こども園から危険箇所の聞き取りを行い、9箇所の危険箇所を把握し、対策に時間を要しない事項については、対策を完了しておりますが、引き続き関係機関と対策を講じてまいります。キッズゾーンの設定は、安全確保の有効性を検討し、関係機関と協議しながら、調査・研究を進めてまいります。

## 地域福祉について

関本 真樹 議員

**問** 介護予防・日常生活支援総合事業の中の訪問型サービスについて、今後どのような方向性で進めていくのかお答えください。また、地域住民の支え合いの一環となる有償ボランティア団体の立ち上げ支援、担い手の育成についての考えをお聞かせください。

**答** 総合事業における住民主体の訪問サービスが、今後重要性を増し、担い手の育成が必要となってくるものと考えております。それに備えた対策として、支援団体の設立や育成支援、従事する支援員への研修会の開催などを検討します。有償ボランティアの育成支援については、生活支援コーディネーターによる生活支援体制整備事業を充実し育成支援を考えます。

## 自衛隊員適齢者の名簿提出について

上田 健二 議員

**問** 大和郡山市は、自衛隊からの要請を受けて、18歳と22歳を対象に1,637名の個人情報紙媒体を紙媒体で提出しています。日本平和委員会が全国で行った調査では、全体の66%の自治体で、提出義務がないことを根拠に台帳の閲覧・書き写しのみ対応となっています。本市も名簿提出の対応を改めるべきかどうか。

**答** 本市の個人情報保護条例におきまして、法令等に定めがあるときは個人情報を提供することが認められていることから、現時点で対応を変更する予定はありませんが、今後は社会情勢の変化や、国の見解の変更等について注意深く見守って参りたいと考えています。

・他の質問項目：やまと郡山城ホール演劇鑑賞について

## SDGsの取り組みと進捗状況について

河田 和美 議員

**問** ①共生社会ホストタウンについてお聞かせください。②造血幹細胞移植後、移植前の予防接種の抗体が低下もしくは消失します。その際の20歳未満の再接種費用の助成をするお考えはありますか。③来年10月より定期接種になるロタワクチンを4月生まれの乳児から接種出来るよう前倒しするお考えはありますか。

**答** ①パラリンピアンとの交流をきっかけに共生社会の実現に向けた取り組みを行う自治体を国が募集しており現在申請中です。内容はシンガポール選手団との交流、簡易スロープの助成、小中学校のトイレの洋式化等です。②他市の状況を見ながら検討してまいります。③費用面での負担がございますので、財政当局と協議してまいります。

## 学童保育について

大垣 良夫 議員

**問** 運営されておられる保護者会の負担を減らすため、支払業務等を市で、また、学童によって異なった保育料を一律に安く設定できませんか。加えて、公平かつ適正な補助金支出という観点から監査の強化を求めます。

**答** 運営主体であります保護者会に対して補助してまいりますので、現状では支払業務等を市で行うことはできません。保護者会の負担を減らすため、運営方法について調査や視察等をしてまいります。また、要綱を改正するなど、保育料に大幅な差がないよう、上昇しないように、また、繰越金の扱いも含め、適正な運営ができるよう検討することも必要であると考えます。

## 高齢者の外出支援について

吉川 幸喜 議員

**問** 自動車運転免許の返納等、通院や買い物等をしたりすることが困難な高齢者が増えてきています。地域福祉活動の取り組みの中で、地域住民・団体の方々が主体となって、高齢者の方を無償で送迎を行う事業について、具体的な内容についてお聞かせください。

**答** 道路運送法上の許可・登録を要しない輸送として行われる輸送サービスとして、大和郡山市が主体となった輸送サービスの提供を行うという方法です。実施には本市自身が費用の全額を負担して運行主体となり、運転は地域住民やボランティア団体等が行い、利用者から運送の対価を一切得ない形とする輸送サービスです。実現に向けては地域福祉の取り組みの中で進めてまいります。